

～自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望にむかう子ども～
○ 自ら学ぶ子ども
○ こころ豊かな子ども
○ たくましい子ども

玉っ子

NO5 R4.5.27

文責 校長 佐藤則之

達成感・満足感は得られたか

5月21日(土)の運動会には、早朝よりお手伝いをいただいたり、子どもたちの取組に温かな拍手等をいただきまして本当にありがとうございました。ご家庭とは、また違った子どもたちの表情や言葉に出会えたのではないのでしょうか。

コロナ禍にあって様々な制約がある中、子どもたち自身が準備の段階から学年に応じ運動会に関わることができるような場面を多く設けたいとの思いがありました。

それは、コロナ禍ゆえに、今までよりも種目数を減らし、午前中で終了するようにしただけの運動会にはしたくないとの思いがあったからです。6年生にとっては小学校生活最後の運動会です。「コロナ禍前のように、午後までやれたらよかったのに・・・」という感想ではなく、達成感や満足感を味わうことができるような運動会にすることにより、子どもたちにとって学びの場となる、そんな今年の運動会を目指しました。1年生には1年生なりの、2年生には2年生なりの、各学年の子どもたち一人一人が達成感や満足感を味わうことができたのであれば、今年の運動会の目的は達成できたのではないかと思います。

種をまかねば、芽は出ない・・・

「集中する姿」「熱中する姿」「没頭する姿」…このような姿を、教科学習の中でも、休み時間の友達との関わり合いの中でも、家庭学習に取り組む時にも、数多く子どもたちからみることができるようにするための「種まき」をするのが、私たち大人の役割の一つと考えます。

学校でできること、ご家庭でできることなど、改めて再確認するきっかけとなる運動会でした。



5月25日(水)の南達方部小学校交歓陸上競技大会の際には、6年生の子どもたちへの応援ありがとうございました。運動会同様「全力投げ!」の合い言葉をもとに、「玉っ子」らしい多くの活躍する姿をみることができました。

また、早朝よりテント設営のご協力をいただきましたPTA会長さんや学年委員長さんはじめ、ご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。